

嬉総第159号の11
令和5年7月24日

嬉野市議会議長 辻 浩一 様

嬉野市長 村上 大祐
(公 印 省 略)

文書質問について(回答)

嬉野市議会基本条例第7条第3号の規定に基づく文書質問につき、下記により回答いたします。

記

提出者 嬉野市議会議員（議席番号13番） 芦塚 典子

(質問事項)

国道等の整備について

(質問の要旨)

1. 国道498号線の整備について、出水期には嬉野市役所塩田庁舎前の交差点付近や塩田中学校北側交差点付近、また町分区田中町（コンビニ前）付近が冠水するが、どのような対策を講じられているか伺う。

(回答)

建設課

杵籐土木事務所の管理で、嬉野市役所塩田庁舎前の交差点付近や塩田中学校北側交差点付近の対応については、浦田川ポンプ稼働、浦田川樋門、また町分区田中町の対応については、入江川ポンプ稼働、入江川樋門で排水しており、いずれも塩田川の水位を見ながら対応されています。

2. 国道498号線の浸水地区の道路整備について、出水期に冠水がみられるのは、二つの排水機場の問題によるところが大きいと思われる。

① 浦田川からの水流を排水する八幡川合流地点の排水機場のポンプの稼働時間を早めにとすることと排水能力をあげて排水することができたら、塩田中学校北側の道路並びに嬉野市役所塩田庁舎前の道路の冠水も防ぐことができるが、どのように対策を計画されているのか、伺う。

(回答)

建設課

ポンプ稼働、樋門開閉については、塩田川の水位を見ながら対応されています。排水能力アップについては、市の方も要望しているところであります。

- ② 馬場下排水機場に水の流入を防ぐ止水版を設置されているが、ポンプの稼働を考えれば、止水壁を整備することが望ましい。または耐水排水機場としての整備も考える時期ではないかと思えるが、今後の治水対策を伺う。

(回答)

農林整備課

令和3年8月豪雨時に屋内浸水のおそれがあり、令和4年に対策を行ったところで、設置後は雨水の浸入はなく、経過観察しております。

3. 高規格道路整備について

- ① 以前計画されていた、鹿島市から武雄市に至る高規格道路について、通学の安全性の確保と朝夕の交通渋滞の解消並びに災害時における交通路線の確保を鑑みると、災害時に対応できる路線整備を国、県に要望すべき時期ではないか、伺う。

(回答)

建設課

鹿島市から武雄北方インターチェンジまでの区間は、「安全で、走行性の高い道路の事業着手」、豪雨による「通行止」が生じない道路整備を国道498号整備促進期成会から、県へ要望しているところです。

- ② 鹿島市から武雄市までの高規格道路は、以前は国道498号線整備促進期成会の会議が開催されるたびに、議題に上っていたが、最近は動きが見えない。しかし朝夕の通勤や通学時には渋滞がみられ、塩田中学校、嬉野高校塩田校舎、武雄高校等に通学する生徒にとって、歩道も整備されず危険な個所が多くあり交通事故の心配がある。特に6月～8月の期間は、雨の多い日が続く、田んぼの中を迂回する通学道路（コンビニセブン～下久間停留所まで）は冠水しやすく道幅も狭いので危険が伴う。

(回答)

建設課

国道498号整備促進期成会は、久間地区の現道拡幅での改良事業も県へ要望しています。国道498号の整備は地域の長年の要望であり、今後できるだけ早い着工に努力をしてみたいです。

- ③ 通学時の危険個所と朝夕の渋滞箇所の解消にも、また災害時の物流運搬の困難を解消するためにも、以前計画されていた、鹿島・武雄間の高規格道路整備を本格的に要

望する必要があるのではないかと考えるが、所感を伺う。

(回答)

建設課

鹿島市から武雄北方インターチェンジまでの区間は、「安全で、走行性の高い道路の事業着手」、豪雨による「通行止」が生じない道路整備について、国道498号整備促進期成会から、県へ要望しているところです。

(質問事項)

河川整備と治水対策について

(質問の要旨)

① 今年度整備される予定の塩田川水系の河川における治水対策を伺う。

(回答)

建設課

塩田川水系における、本年度の河川整備予定箇所について県に照会したところ、河道掘削工事で、塩田川、下宿川、鹿島川を予定されており、また、護岸工事で塩田川、鍋野川、さらに入江川排水機場と浦田川排水機場の発電機更新の事業が予定されているとのことです。

なお本市においては、塩田川水系の流域治水検討業務を予定しています。

② 当初予算に挙げられている河川総務費18,500千円の流域治水推進事業はどのような整備をするのか伺う。また雨水貯留浸透施設整備事業はどのような事業なのか伺う。

(回答)

建設課

令和3年8月豪雨による浸水被害の要因分析、流域での内水被害軽減対策について検討、経済効果など、総合的な治水検討を行う業務です。

市内一時貯留施設（遊水池、たんぼダム等）の現状分析、流域治水対策として検討を行います。

③ 今月7日に開催された「内水対策プロジェクト拡大会議」では、次のような治水対策が提案され取り組み状況が説明されたと聞くが、塩田川水系では、どのような事業が行われるのか伺う。

道路、河川、ため池に108か所設置する監視カメラ、「たんぼダム」を1200ha～2200haへ増す、今年度121か所で実施する浚渫工事等が挙げられている。

(回答)

建設課

監視カメラは6か所、水位センサーは11か所、たんぼダムは54ha(去年は45ha)、浚渫については塩田川、下宿川、鹿島川が予定されています。

- ④ 今月13日に「六角川流域水害対策協議会」が発足し、武雄市北方町から杵島郡大町町と白石町にかけて約13キロの河川敷に、国が70個の湛水池を造ったという記事が出ていたが、塩田川水系でも、河口までの数キロには、渦が堆積しヨシが繁殖している。湛水池整備は、浚渫・河道掘削と同様効果があると思える。国に要望はできないか伺う。

(回答)

建設課

毎年知事要望として、当市の主要河川である塩田川は、嬉野地区市街地及び塩田地区においては、塩田橋から下流域の勾配が緩やかであるため、豪雨や潮の潮汐により土砂の堆積が発生しており、住民の不安解消に向けて定期的な土砂の浚渫をお願いしております。また塩田地区においては、支流である八幡川、入江川の下流域も含めてお願いしているところです。湛水整備については研究していきたい。